



サプライヤーのコンプライアンス違反の管理

はじめに

本文書では、ADMのポリシーに対するコンプライアンス違反の可能性を管理し、コンプライアンス違反の問題に対処するための手続きを規定しています。ADMは、コミットメントに従って生産および管理された材料のみを受け入れることをすべてのサプライヤーに通知します。

ADMのコンプライアンス違反プロトコルは、コンプライアンス違反を特定し、問題を真摯に解決するためのコミットメントをサポートしています。ADMは、サプライヤーからも同様のコミットメントを期待しています。このようなプロトコルは、自社の業務や他の業者からの購入品を含めて、サプライチェーン全体に拡張する必要があります。

ADMは、さらなるコンプライアンス違反を可能にしたり促進したりすることなく、コンプライアンス違反の問題を迅速に解決することを意図しています。検証可能なコンプライアンス違反の申し立てはすべて調査されます。この調査の結果により、コンプライアンス違反の深刻度と、ADMがサプライヤーに及ぼす影響の程度を考慮して、取るべき行動が決定されます。

ADMの目標は、影響力を積極的に活用して、課題に対処し、現場での変革を推進することです。ADMは、サプライヤーの関与が、コミットメントを果たし、継続的改善を進めるための取り組みの第一歩になると考えています。

ガバナンスとリーダーシップ

ADMは、苦情事例に関する議論と意思決定を行うために、内部苦情委員会を設立しました。この委員会には、持続可能性に関する専門家と事業の代表者が含まれており、必要な場合には法的コンプライアンスに関する専門家が参加します。必要に応じて、特定の決定についてADMの経営陣が関与することがあります。ADMのポリシーの実施に関連する進捗状況は、定期的に取り締役に報告されます。

サプライヤーの関与

ADMは、期待されることを直接サプライヤーに伝え、サプライチェーン全体を通じてコミットメントを果たすために協力するよう要請します。

ADMは、サプライヤーが適用されるすべての法規制を完全に遵守し、国際的に認められた環境および社会基準に従うことを求めています。[行動規範](#)とポリシー。ADMは、必要に応じてサプライヤーと提携し、持続可能性をさらに高めます。ADMは、生産者または一次加工業者と長期的または継続的な購入関係を維持する場合、こうしたサプライヤーがコンプライアンスを遵守できるようにサポートします。

ADMは、直接サプライヤーがADMポリシーへの準拠を継続的に自己評価することを求めています。直接サプライヤーは、調達契約の作成中に、ADMポリシーの各項目について懸念や不明点がある場合に、ADMの担当者にその旨を伝えるか、明確化を求めることが期待されています。ADMは、直接サプライヤーがADMのポリシーとコミットメントに従って行動することを求め、また自身のサプライヤーにも同じことを求めるように期待しています。ADMは、間接サプライヤーのコンプライアンス遵守をサポートするために、効果的なインセンティブ、サポートメカニズム、および購入管理システムを通じて直接サプライヤーと連携します。ADMポリシーに対する実際のコンプライアンス違反またはその疑いがある場合、ADMは直接サプライヤーがその直接サプライヤー（ADMの間接サプライヤー）と連携して、コンプライアンス遵守の達成、およびコンプライアンス違反の回避または迅速な対処のために、期限付きの実施計画を策定および履行し、その監視を行うことを求めます。

